

みんなの 町議会

第40号
平成26年10月15日

 神石高原町



- 平成25年度 決算 2
- あなたの声を町政に (一般質問) 8
- こんなことが決まったよ14
- 元気なグループ18

油木高校 32年ぶりの体育祭

全会計

一般会計歳出 **122億5,418万円**
 特別会計など含む歳出総額 **163億5,919万円**

黒字決算

前年度比 **11.7%** (12億8,590万円)の増
 前年度比 **7.6%** (11億5,700万円)の増

平成25年度 健全化の概要

※18%を超えるると地方債許可
 団体に移行し、25%を超え
 ると単独事業の起債が認め
 られなくなり、起債制限団
 体となる。

前年度比より
1.5ポイント改善
 町債の発行抑制や繰上償
 還の効果が表れている



実質公債費比率

決算状況の推移表

単位：万円（四捨五入）

| 区分 | H20年度 | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 標準財政規模 | 69億4,614 | 72億2,734 | 75億5,931 | 73億9,073 | 72億9,662 | 71億9,245 |
| 財政力指数 | 0.240 | 0.244 | 0.235 | 0.226 | 0.221 | 0.221 |
| 経常収支比率 | 92.1% | 83.4% | 79.1% | 81.5% | 80.4% | 76.6% |
| 公債費比率 | 20.5% | 17.4% | 14.1% | 12.0% | 11.5% | 9.7% |
| 実質公債費比率 | 21.9% | 20.5% | 18.0% | 15.0% | 13.0% | 11.5% |
| 地方債現在高 | 157億6,361 | 146億7,510 | 142億7,291 | 132億1,463 | 127億2,072 | 135億8,734 |
| 基金残高 | 32億2,379 | 36億0,452 | 44億8,027 | 56億8,630 | 62億1,962 | 86億2,602 |



神石高原中学校・寄宿舎



サブグラウンド

平成25年度主な事業

- 神石高原中学校建設
 - ・ 校舎・寄宿舎建設(24年度繰越分)
 - ・ 校舎外構工事や備品購入など
 - 8億4,825万円
 - 2億6,544万円
- 協働のまちづくりのため
 - ・ 基金積み立て
 - 11億円
- 借金返済
 - ・ 長期債元金繰上償還
 - 1億8,275万円
- 普通財産管理
 - ・ 建物解体工事(旧三和小学校など)
 - 7,521万円
- 町道緊急安全対策
 - ・ 維持補修
 - 4,900万円

9月定例会

9月定例会は、9月9日から24日まで開きました。
 今回の定例会では、平成25年度一般会計・各特別会計並びに病院事業会計を含む10会計すべての決算を認定しました。
 また平成26年度一般会計・各特別会計・病院事業会計補正予算および神石高原町いじめ問題調査委員会設置条例の制定や町道路線認定などを含め31議案を審議し、すべて原案通り可決しました。
 一般質問では、8人の議員が当面する行政課題をただしました。

平成25年度 神石高原町各会計歳入歳出決算総括表

単位：万円（四捨五入）

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 繰越事業 | 差引残高 |
|---------------|-----------|-----------|-------|---------|
| 一般会計 | 128億6,060 | 122億5,418 | 7,493 | 5億3,149 |
| (うち繰越分) | 11億6,954 | 11億5,181 | | 1,773 |
| 特別会計 | 36億9,367 | 36億9,367 | | 0 |
| 国民健康保険特別会計 | 11億5,133 | 11億2,471 | | 2,661 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3億7,988 | 3億7,800 | | 188 |
| 介護保険特別会計 | 18億9,356 | 18億5,190 | 216 | 3,950 |
| 簡易水道事業特別会計 | 2億0,329 | 1億8,582 | | 1,747 |
| 飲料水供給施設事業特別会計 | 4,117 | 3,796 | | 321 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 2億7,784 | 2億5,752 | | 2,032 |
| 総合開発事業特別会計 | 4,205 | 3,612 | | 593 |
| 分収育林事業特別会計 | 0 | 0 | | 0 |
| 病院事業会計 | 2億3,367 | 2億3,297 | | 70 |
| 合計 | 170億8,339 | 163億5,919 | 7,709 | 6億4,711 |

どう使われたの？

25年度決算特別委員会審議の主な質疑

総括質疑

住民課

村上委員 固定資産税現年分の不納欠損は、

町長 相続放棄されているため、相続人がいない。

かたは、

町長 出会いの場を増やすため、婚活の取り組み支援など検討する。

松本委員 協働のまちづくりに向け、行政、自治振興会などの基盤づくりは、

町長 行政は、総合的な体制ができた。自治振興会でも、積極的に取り組まれている。

発信など取り組んだが、十分な成果ではない。改善しながら、今後も取り組む。

総務課

橋本委員 今後、予算縮小が余儀なくされ、

町政運営の体制は、

町長 協働のまちづくり

が一つの方向、少数精鋭体制に向け、職員の人事評価制度導入を検討する。

産業課

村上委員 未来創造支援事業は有効だったか。

町長 産直市場販売強化・新規就農支援・6次産業化推進・ブランド化

松本委員 地域づくり計画が策定されていない地域はどう取り組むのか。

町長 まちづくり推進課長 未策定振興会は、集落支援員のいない所が多い。振興会と協議しながら進めたい。

久保田委員 神石牛ブランド復活に取り組んでおり、ビーフ天国への支援を復活しては。

町長 神石牛ブランド化推進のため何らかの予算化を考えた。

環境衛生課 犬殺処分ゼロをめざし、町内の飼い主には飼育指導などを行っているが、周辺市町からの捨て犬の増加にどう対応するか。

町長 主な原因は、競争の激化、同一野菜の集中化などによる魅力減である。特徴ある産直施設を検討している。

赤木委員 犬殺処分ゼロをめざし、町内の飼い主には飼育指導などを行っているが、周辺市町からの捨て犬の増加にどう対応するか。

町長 殺処分ゼロを变える気はない。保護捕獲を徹底し子犬を増やさない。26年度から保護頭数は増えても委託料は増やさない。捨て犬が増えるようだと県や愛護団体と協議する。

環境衛生課

赤木委員 犬殺処分ゼロをめざし、町内の飼い主には飼育指導などを行っているが、周辺市町からの捨て犬の増加にどう対応するか。

町長 殺処分ゼロを变える気はない。保護捕獲を徹底し子犬を増やさない。26年度から保護頭数は増えても委託料は増やさない。捨て犬が増えるようだと県や愛護団体と協議する。

松本委員 食糧事務所跡地利用は、

総務課長 跡地は段差があり、そのままでは利用が難しい。跡地利用はまだ未定。

村上委員 ふるさと納税の寄付金の、自治振興会への内訳は、

まちづくり推進課長 平成25年度は162万円の納税があった。平成26年度から自治振興会のメニューを加え、自治振興会分で27万円の寄付がある。

久保田委員 ゴミ袋の販売方法を変えたのか、新たに手数料がかかるのでは。

環境衛生課長 商工会へ販売委託しており、経費

産業課 まちづくり推進課長 未策定振興会は、集落支援員のいない所が多い。振興会と協議しながら進めたい。

久保田委員 神石牛ブランド復活に取り組んでおり、ビーフ天国への支援を復活しては。

町長 神石牛ブランド化推進のため何らかの予算化を考えた。

松本委員 食糧事務所跡地利用は、

総務課長 跡地は段差があり、そのままでは利用が難しい。跡地利用はまだ未定。

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。



まるごと市場 店舗内

産業課 まちづくり推進課長 未策定振興会は、集落支援員のいない所が多い。振興会と協議しながら進めたい。

久保田委員 神石牛ブランド復活に取り組んでおり、ビーフ天国への支援を復活しては。

町長 神石牛ブランド化推進のため何らかの予算化を考えた。

松本委員 食糧事務所跡地利用は、

総務課長 跡地は段差があり、そのままでは利用が難しい。跡地利用はまだ未定。

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。



仙養ドッグランの犬舎

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。



通信衛星授業を受ける油木高生

保健課

横山委員 子宮頸がんワクチンの予防接種で、25年度に厚労省が積極的に勧奨しないと発表してから、町内で接種した人がいるのか。また、今後も接種を続けるのか。

保健課長 昨年6月以降は6人が接種している。定期接種なので、引き続き、積極的なおすすめはしないが、接種希望者に

学校教育課

松本委員 油木高校教育連携支援事業の成果で、ホップ・ステップ・ジャンプのジャンプの段階と言われたがその根拠は、

教育長 国公立大学への合格者の増加や産業ビジネス科の活躍が全国的に



スクールバスで通学する神石高原中学校生徒たち

評価され表彰を受けたことである。

松本委員 サテライト支援について内容の検証は、

教育長 役に立つ授業の継続は必要である。

松本委員 中学校の運動部の競技力は、中高連携事業でどう向上したのか。

教育長 高校とのクラブ活動の交流などで、成果が上がっている。

橋本委員 スクールバスの安全管理を徹底するため、安全講習会を開催しては。

教育長 関係機関と連携し、10月に実施する。

課別の質問

総務課

藤田委員 生活交通路線バスの乗車率はどの程度か。再編整理は、

総務課長 朝夕の高校生の通学時間帯は乗車率が高く、昼間の乗車率はかなり低い。

路線バスがないと他市町からのアクセスが途絶えてしまう。引き続き運行依頼し、他市町との連携もしながら、国・県の補助を受け、現状維持していく。

松本委員 選挙ボスター掲示板は今後はどうするの。

総務課長 ポスター掲示場は距離が不均等な箇所もあり、今年中に位置を見直す。

松本委員 投票時の送迎については、

総務課長 今まで全く利

環境衛生課 ゴミ袋の販売方法を変えたのか、新たに手数料がかかるのでは。

環境衛生課長 商工会へ販売委託しており、経費

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。

用されていない路線も半分以上あり、今後見直す。

は一般会計から持ち出し
ている。経過を整理する。

横山委員 ゴミの分
別が高齢者には分かりづ
らい。また、アルミ缶も
つぶしてはいけないし、
瓶はなぜで分別するの
か。

環境衛生課長 本町はリ
サイクルを原則としてお
り、分別が細かくなる。
アルミ缶の収集方法も業
者との協議の上で決定し
ている。茶色い瓶だけが
リサイクルが可能。今後
様々な方法で周知をした
い。

松本委員 し尿処理
場の修繕の必要性は。
環境衛生課長 毎年多額
の修繕費がかかっている。
27年度に調査を行い、
耐用年数や修繕が必要な
箇所など明確にする。

産業課

妹尾委員 地籍調査
の進捗が遅い。あと何年
くらいで完了するのか。

**森林組合の境界確認シス
テムは使えないか。**
産業課 完了までに、あ
と20〜30年かかる。
森林組合の境界確認シ
ステムと接点がないか検
討する。

建設課
小川副議長 高齢化な
どにより、支障木除去の
出来ない地域があるが、
対応は。
建設課長 実施希望が増
加している地域もあり、

福祉課
横山委員 たんぽぽ
託児所と保育所との調整
は。
福祉課長 2歳児が保育
所と重複しているので、

建設課

久保田委員 町道は2
車線改良が必要か。
建設課長 場所によつて
は、1.5車線の整備を
行っている。

広報での周知もあわせて
対応を考えている。

赤木委員 配食サー
ビス利用者の負担はどの
くらいか。
福祉課長 1食あたり、
町が300円の負担をし
ている。本人負担分は4
00円から600円程度
だ。

福祉課

保健課
松本委員 町立病院
のアンケートの具体的な
要望は。
保健課 アンケートでは
診療科目の充実、訪問診療
や往診の要望、要介護者の
在宅支援などがあつた。
また外出時の交通の不
便さを感じている人が多
かった。



配食サービス弁当の盛り付け風景 (シルトピア)

平成25年度決算審査意見書(抜粋)

代表監査委員 岡崎 武志
監査委員 寄定 秀幸

町政運営の課題克服に向けて、
定住対策・企(起)業家支援、過疎・
高齢者対策、子育て支援、農林業
振興対策、観光開発、保健・医療・
福祉対策、教育環境整備の充実等
に取り組みましたが、企(起)業家
支援、農林業振興対策、観光開発
などについては、今後も引き続き
取り組みを推進すべきである。

人口減少社会への対応として、
少子化対策や定住対策の推進と併
せて、住民の理解を得ながら「協
働のまちづくり」推進が今後の町
政運営の課題である。

(1) 税等の収納率・滞納処理

税等の徴収は行政の根幹をなす
極めて重要な業務であることを認
識され、引き続き収納率向上と滞
納額減に努められたい。

(2) 財政状況

財政状況は健全化が着実に推進

されているが、来たるべき地方交
付税の減額に備え、引き続き経常
経費の抑制、無駄の排除、節約の
徹底を期されたい。

(3) 繰越明許費

繰越明許費は、総額3億102
8万8000円となっている。や
むを得ない事情もあつたと推察さ
れるが、本来、総合的な計画によ
る予算化が必要であり、安易な明
許繰越は避けるべきである。

(4) 基金管理

基金管理は適正になされている
が、基金運用については社会経済
状況の急激な変化に対応したペイ
オフへの対応を視野に入れて、引
き続き安全・有利な運用を検討・
対応されたい。

利用者が調整されている。

赤木委員 配食サー
ビス利用者の負担はどの
くらいか。
福祉課長 1食あたり、
町が300円の負担をし
ている。本人負担分は4
00円から600円程度
だ。

保健課
松本委員 町立病院
のアンケートの具体的な
要望は。
保健課 アンケートでは
診療科目の充実、訪問診療
や往診の要望、要介護者の
在宅支援などがあつた。
また外出時の交通の不
便さを感じている人が多
かった。

保健課

学校教育課
横山委員 油木高校
とオーストラリアのバン
ダバーグ・クリスチャン
カレッジが姉妹校提携と
あるが、提携後の交流予
定は。
学校教育課長 オースト
リアの学校へ留学でき
るプランを作成中。

生涯学習課
片山委員 読書感想
文は「黒い雨」に限定せ
ず、幅広く選ぶことが良
いのでは。
生涯学習課長 当面この
ままで行うが、検討はす
る。

橋本委員 町立病院
の職員確保対策交付金と

決算特別委員会 審査報告概要

委員長 藤田 晃己

平成25年度一般会計歳入歳出
決算ほか8特別会計及び病院事
業会計について、決算書及び主
要施策の成果に関する報告書に
基づき詳細な説明などを求め、
慎重な審査を行った。

審査の結果、全ての案件を、
原案のとおり認定すべきものと
決定しました。

なお、審査の過程で指摘され
た事項のうち、集約した意見・
指摘は次のとおりです。

- 一 すべての会計が黒字決算
で、実質公債費比率は11.5%
と年々改善された。財政健全
化の取り組みを高く評価する
が、今後の財政の硬直化も予
測され、引き続き町長の英断
と英知が結集された施策を強
く望む。
- 二 統合中学校建設事業は、執



シルトピアカレッジ図書館

生涯学習課

して300万支出してい
るが、その必要性は。
保健課長 医師5人に対
して、町費から追加で月
額5万円を支出している。

学校教育課

松本委員 シルトピ
ア図書館の現状は。
生涯学習課長 貸出数を
10冊に増やしたため、年
間貸出数は増えたが、そ
の反面、来館者数は減つ
た。



決算特別委員会での質疑

- 三 協働のまちづくりは、町民
の理解と協力を得て進めるこ
と。
- 四 農地の荒廃が増加してお
り、解消に向け検討が必要。
- 五 病院は、利用者の実情に即
し、医師の確保と医療の充実
を望む。

あなたの声を町政に

質問時間は、答弁を合わせて一人二時間以内で一問一答方式



丸山 達夫 議員

海士町 町長との会談では

答 官民一体で起業が盛んである

Q 町長 国へのパイプが強く、町長自ら行動されている。施設は町が作り、管理運営は地元で行うシステムで、起業する移住者や島民が多い。建設業者が牛の飼育を始めている。
A 町長 また取り組みも早く全国発信も上手で、職員の政策意識が高い事など参考にしたい。

Q 海士町は、町の消滅という危機感を共有し、町長は現場主義に徹し、住民意識が変わり地域再生に繋がっている。これが真の「協働のまちづくり」ではと感じている。
A 町長 まず要望の強い選果機の更新が最優先だ。保冷库の要望は直接に聞いていないが、担当課で検討させる。

Q 海士町は、町の消滅という危機感を共有し、町長は現場主義に徹し、住民意識が変わり地域再生に繋がっている。これが真の「協働のまちづくり」ではと感じている。
A 町長 まず要望の強い選果機の更新が最優先だ。保冷库の要望は直接に聞いていないが、担当課で検討させる。



菱浦港にある海士町観光協会

Q 本町の一番の課題は、人口減少の歯止めである。定住対策の柱として何を重点に取り組むのか。
A 町長 人口減少に対しては、特効薬はない。各分野でバランス良く取り組む事が重要で、本庁内に「人口減少対策本部」を設置して、各分野横断的な検討をする機能にしたい。

Q 町立病院の改築や、病院機能の見直しは。
A 町長 耐震調査の結果、西館は強度不足のため、現在地での建て替えか新築移転かを選択肢として考えている。また看護師などの不足もあり、病床数など、策定委員会などで協議中である。



改築・建替か検討中の町立病院

問 定住対策の重点施策は



松本 彰夫 議員

答 各分野でバランスよく取り組む

町立病院の改築は

Q 町立病院の改築や、病院機能の見直しは。
A 町長 耐震調査の結果、西館は強度不足のため、現在地での建て替えか新築移転かを選択肢として考えている。また看護師などの不足もあり、病床数など、策定委員会などで協議中である。

Q 協働のまちづくりと支所機能の充実は
A 町長 現在協働のまちづくり検討チームを設置して、考え方や組織について検討している。支所機能については、現状は維持する。

Q 飼料用米移行への反省と今後の対策は。
A 町長 個別処理ライスセンターがない事や販路の確定ができなかった。和牛改良組

Q 国は地域の活力創造本部を設置し、農業農村の所得を10年間で倍増させる目標を掲げた。飼料用米を誘導しているが、本町の面積と量は。
A 町長 平成26年度は飼料用米の栽培は取り組んでいない。JA福山市が種子を手でできなかった。



安田ライスセンター

農地利用率の向上策は

Q 農道や水路の維持管理が困難だ。
A 町長 中山間農業の保全や農業振興策にかかると税制の改正は検討できないか。

問 飼料用米の推進は



村上 克朗 議員

答 取り組んでいない

合と協議を進めた。

Q メリットがないと相続放棄と耕作放棄地が増えるが、対応は。
A 町長 農業の現状と役割、必要性を国も考えて中間管理機構で検討している。

ふるさと納税は

Q 応援寄付金の実績状況をどう判断しているか。
A 町長 平成20年度から制度化したし、162万円寄付されている。

Q 実績拡大に向けてホームページの充実としては。
A 町長 まちづくり推進課長や酒や肉などの産品も対象に検討する。

問 道徳教育の充実を



赤木 俊二 議員

答 十分に指導していく

Q 家庭の助け合いの重要性や親孝行の大切さを考えさせる必要があるか。
A 教育長 家庭での位置づけが大きな要素になっている。今後家庭への持ち帰りの指導には全力を挙げていく。

Q 家庭の助け合いの重要性や親孝行の大切さを考えさせる必要があるか。
A 教育長 家族を敬愛し協力し合い、家庭を築くことは基本にある。尊敬と感謝の気持ちを発達段階に応じて育てていくというの大切だ。十分に指導し、家庭での話し合いの中で取り組むことも大切だ。

Q 土曜日教育は、学校・地域・家庭が連携して子どもたちが社会を生き抜くために必要な力を育むとしている。参加はどの程度か。参加できていない子どもに対しての取り組みは。
A 教育長 小学生で約半数以上の高い参加率になっている。学校でも教育委員会でも地域の活動に参加するように促している。学校と地域・団体の連携を十分図っていく。



新しくなった道徳の教材

Q 道徳の教材が「心のノート」から「わたしたちの道徳」に変わった。文科省より児童生徒が家庭に持ち帰って、家庭や地域で活用するように通知がでているが現状はどうか。
A 町長 まちづくり推進課長や酒や肉などの産品も対象に検討する。

問 温泉資源の活用方向は



横山 素子 議員

答 観光事業として考えたい

様の結果が出ています。今後は温泉資源の活用検討協議会で一定の方向性を検討して頂き、専門家の意見を聞きながら具体的な利用計画を立てていきたい。



源泉地(林道光福佐波線沿い)

Q 井関地区の温泉を、今年度再調査をされたが、その結果と今後の活用計画は。
A 町長 平成8年に旧三和町で調査しているが、その時より若干揚水量は減っているものの成分などは、当時の調査とほぼ同

Q 住民の憩いの場所としてこの水を利用したり、観光事業として、女性を呼び込めるような活用計画をたてたらどうか。
A 町長 女性が好む施設として、観光事業に結びつけるような活用を考えていきたい。



Q 介護予防事業の認知症予防カフェの開催は、発症の予防としてとても重要だと思えますが、今後開催場所を増やしていく予定はあるのか。交通手段の改善は。
A 町長 現在町内3カ所で開催しているが、今後開催場所も順次増やしていきたい。また、交通手段は、今後の検討課題と考えている。

認知症カフェの開催は

現在町内3カ所で開催しているが、今後開催場所も順次増やしていきたい。

問 森林事業の再生は



妹尾 幸太郎 議員

森林経営の一元化を進めたい

Q 森林は町の8割を占める。経営が困難になり、公益的機能も低下している。森林林業の現状課題は。
A 町長 木材価格の長期低迷や過疎化の進行などが林業経営を困難にした。国や県の助成のある保育間伐などを行っているが、皆伐は赤字になるなどの課題がある。

地に設定し、長期施業受託契約し、森林の所有と経営の分離を進めている。今後組合などと連携を進める。

Q 森林の公益的機能を林業振興だけで行うことは困難だ。国に1兆円規模の財源確保を提案してはどうか。
A 町長 これまでも国へ要請したが、改めて検討し提案したい。

Q 森林の公益的機能を林業振興と連携した森林バイオマスの実験研究を進めては。
A 町長 現段階では経済性などの課題もある

Q 森林組合などが、所有者から長期間の施業を受託し、町内の森林経営を一元化する必要があるが支援策は。
A 町長 低コスト林業団

Q 農業・畜産業と連携した森林バイオマスの実験研究を進めては。
A 町長 現段階では経済性などの課題もある



東木の販売拡大へ

が、今後の動向を注視し検討したい。

Q 森林を再生し、活用し、次世代に引き継ぐことは、我々の使命だと考えるが、町長の率直な思いは。
A 町長 現在は森林の重要性より、経済性が優先されている。森林組合が中心となって地域の森林を経営する方法は、唯一残された方向と考

えている。素晴らしい景観を形成する里山の総合的な整備が大事だ。多様な特性を持った地域であり、多様な活用を進めたい。



改良中の県道 牧油木線

問 県道牧油木線の改良は



横尾 正文 議員

答 待避所設置の工事など発注

Q 今年度の県道牧油木線の改良工事の内容は。
A 町長 待避所と対向車を察知し警告表示する道路情報表示板設置工事を発注。完了は12月上旬を予定。

せてガードレールなどを可能な区間に設置する。また冬季には、凍結防止剤の散布などを実施する。

魅力化プロジェクトは

Q 油木高校の魅力化プロジェクトの進捗状況と今後の方向性は。
A 教育長 現在まで3回の会合を行った。テーマを7点に絞り議論をされ、来年3月の答申で今後の方向性が示される。特に油木高校の公

営塾は現在行われて

いる「サテライン」の検証や生徒への意識調査、講師の調整や開催方法を固め来年度から導入したいと考えている。

中学校の学習サポートは

Q 高原寮の学習サポートを全町的に拡大すべきでは。
A 教育長 プロジェクト委員会が高校の魅力化に向けた検討とともに、中高の6年間をどう育てるかを検討している。その中で学習サポートをどうするか議論されているので注視していきたい。

問 PFI事業の仙養ヶ原ティアガルテンの資金計画は



久保田 龍泉 議員

答 一期分は1億4千万円

J2600万円、広島銀行2000万円(貸付)総務省交付金5000万円。

Q 事業費が膨らんだ場合の対応は
A 町長 PFI事業費が膨らんでも町は関与しない。上下水道整備の負担については精査が必要だ。

Q 当初説明のROIソーン2億円、PWJ4000万円出資は、いつ確保できるのか。
A 町長 実施主体は、内部のことであり、資金が調達されればよい。

Q 地元から苦情が出ないよう、丁寧な説明と理解を得るべきだ。地元説明はしたのか。地元の見解は議会に報告するか。
A 町長 総事業費は2億7000万円。一期分として1億4000万円。その内訳は、(株)ティアガルテン2400万円、ローン2000万円、PW



仙養ヶ原

9月補正予算

主な事業

総務課

- ・財政調整基金積立経費 2億円
- ・本庁舎耐震調査費 300万円
- ・人事評価制度の構築導入費 300万円
- ・かがやきネットの運営管理費 11Chの画面や音声を高質にするなど 1068万円
- ・自然公園等管理運営経費 PFI事業(仙養ヶ原ふれあいの里) 5000万円

まちづくり推進課



耐震調査をする本庁舎

住民課

- ・重点公共施設新設整備費 新庁舎建設などの基金 1億5000万円
- ・一般被保険者国民保険税 ▲784万円
- ・退職被保険者等国民保険税 ▲467万円
- ・福祉課
 - ・臨時福祉・子育て特例給付金給付事業 消費税引き上げによるもの 309万円
 - ・クリーンセンターじんせき施設経費 250万円
 - ・簡易水道施設管理経費 施設修繕 市場・西油木・井関・小畠・高蓋・時安地区 499万円
 - ・飲料水施設管理経費 野田丸地区・古市地区整備 90万円

産業課

- ・保健課
 - ・病院事業運営管理費 町立病院の冷温発生器の更新 180万円
 - ・環境衛生課
 - ・飲料水確保対策事業 54万円
 - ・農村地域総合推進事業
 - ・園芸施設整備等補助金交付事業
 - 「神石焼き実行委員会」を設立し「広島てっばんグランプリ」に出場する経費の一部補助 821万円
 - トマト・ぶどう栽培普及 237万円
 - ・神石牛再構築プロジェクト 235万円

建設課

- ・阿下地区配水池 滅菌器修繕 100万円
- ・安田・李団地用地に係る境界測量調査 850万円
- ・クト事業 神石牛振興協議会などへ補助金 847万円
- ・建設課
 - ・土地改良補助金交付事業 区画整理 豊松地区 1件
 - 神石地区 3件



ビニールハウスでのトマト栽培



神石高原中学校 図書館



郡共進会審査風景

- ・道路維持対策事業 支障木伐採除去 神石地区 2箇所 豊松地区 4箇所 85万円
- ・学校教育課
 - ・学校教育諸費 13万円
 - ・学校教材経費 神石高原中学校の図書購入 10万円

生涯学習課

- ・文化財保護事務経費 町指定文化財亀山八幡神社の修復 69万円
- ・生涯学習課
 - ・保健体育施設管理経費 シルトピアグラウンド グレーチング設置他 来見グラウンド防球ネット 豊松山村広場のスポーツトラクター導入 2680万円



スポーツトラクター配備(豊松山村広場)

9月補正予算 反対討論

片山元八郎

老朽化した本庁舎の耐震診断調査のため庁舎管理経費300万円が計上されている。町立病院旧館の耐震診断結果は、Is値0.3以下で町長は、病院改築が最優先課題と発言している。庁舎より病院が先

であり、順番が逆で納得できない。町指定の緊急避難場所は、いまだ耐震診断が行われていない。更に重要公共施設整備基金が1億5000万円計上されているが、新庁舎建設の必要性が理解でき

ない、反対する。その他の補正予算は賛成である。

9月補正予算 賛成討論

松本 彰夫

提案の補正予算に賛成する。今回の補正では、町民の福祉の向上、産業の活性化など重要な事業が計上されている。病院の改築は、現在、病院の機能、規模が検討されており、これを進め

ることになり、病院が後と決まっていけない。庁舎建設には、様々な意見があり、重要な課題である。先日、常任委員長会議が招集され、耐震調査の結果が出てから、様々な課題を総合的に検証、研究

することとした。町民福祉の向上に向け取り組むことを決意し、補正予算の賛成討論とする。

条例制定・改正 こんなことが決まったよ

人事 全会一致
人権擁護委員の候補者の推薦
山口 ヒロ子さん

財産の取得 全会一致
普通4輪小型動力ポンプ積載車 2台
取得価格 1814万円

訴えの提訴 全会一致
坂瀬川地区内共有地の所有権(持分権)を原告に移転登記を被告
3件

町道路線認定 全会一致
第3重松線 78m
第3重松支線 50m
井関地区

条例制定 全会一致
・神石高原町家庭的保育事業等の設備及び運営基準
・神石高原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準
・神石高原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準
・神石高原町いじめ問題調査委員会設置

条例改正 全会一致
・母子及び寡婦福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理
・神石高原町乳幼児医療費支給条例の一部改正

条例廃止 全会一致
・神石高原町新規就農者及び担い手農業者育成特別措置条例の廃止

過疎地域自立促進計画の変更 全会一致
共同育苗場整備事業
消防屯所整備事業
保育所整備事業
地域コミュニティ支援事業の追加など

追跡 ありやあどうなったん?

平成26年4月から油木保育所とよまつ保育所の指定管理(社会福祉法人 東城有栖舎)がスタートしました。

0歳児(6ヶ月)から受け入れを行い、油木保育所39人、とよまつ保育所20人となっています。

両保育所ともに音楽療法士による「ハートフルミュージック」、看護師による「うんち体操」、歯科衛生士による「歯磨き指導」、「エンジョイイングリッシー」などを行っています。何と言っても一番人気は、管理栄養士による栄養バランスの取れた、見た目にも美味しく可愛い給食です。

子どもたちはもちろん、保護者とのコミュニケーションも良い関係が出来上がり、地域の皆さんの暖かいご支援のもと、元氣一杯の子ども達の日々の成長がとても楽しみです。

また、油木保育所はトイレ、遊戯室、外壁などの改修工事を行っており、10月末には完成予定です。

9月 あんぱんまん焼き作り

美味しい給食

油木保育所の子どもたち フラワーアレンジメント

総務文教常任委員会

活動報告

調査日時 平成26年7月8日(火) 9日(水)

調査場所 島根県雲南市

研修内容 小規模多機能自治による持続可能型「絆」社会の構築
1. まちづくり基本条例
2. 活動基盤
3. 新しい公共



雲南市での研修風景

総括 本町において、かがやきネットの活用方法の研究が必要であり、地域を守り、ヘルスケア、生活支援、在宅医療支援などを目的とした協議会の設置など、横の連携をもつ組織が必要と思われる。

総括

本町の協働のまちづくりを進めていく過程において、町民の理解と協力を仰ぎながら進めるべきであるが、現状においては、地域活動に温度差があるため、あせらず、慎重かつ確実に一歩一歩進めるべきである。

研修内容

地域情報化及びICTの利活用に関する取り組みなど
1. 地域情報化に関する取り組み
2. ICT利活用に関する取り組み



奥出雲町のコールセンター

産業建設常任委員会

活動報告

調査日時 平成26年7月15日(火) 16日(水)

調査場所 島根県隠岐郡海上町

研修内容 産業振興の取り組み
移住者が264世帯361名あり、移住者を中心とした6次産業化産品の開発と振興、和牛ブランドの振興、また役場や観光協会の体制の強化による産業振興を実現。



海上町での研修風景



公営塾の設置など、油木高校の魅力化を進めることにより、生徒数の増加が出来れば将来的に高校存続に繋がる。

総括

・やりたい事業のために補助金を獲得。
・インターン、Uターン者など若い人の声を取り入れて、6次産業化を推進する。

議会広報常任委員会

活動報告

議会の審議状況及び活動の実態などについて、広く町民に周知を図るため、議会広報誌「みんなの町議会」を発行しています。

られています。

平成25年10月8日

山口県熊毛郡

議会広報連絡協議会

平成26年8月8日

鳥取県大山町

議会広報常任委員会

議会活動全般にわたり、「早く、正確に、読みやすく」を目標に、見出しで、質疑・答弁の要旨がわかるものにしたいと思っています。

議会広報委員5人で企画・校正・編集をすべて行っています。

(事務局は、数字などのチェックのみ)

写真は、広報委員が自ら撮影。

他県の議会から、議会広報誌について研修に来

11月には、兵庫県猪名川町議会が来町する予定です。

また、昨年は、高知県芸西村議会広報委員会での研修や東京で開催の第79回町村議会広報研修会に参加しています。本年は、徳島県勝浦町議会での研修や第81回町村議会広報研修会にも参加予定です。



高知県芸西村議会での研修



鳥取県大山町議会広報委員への説明風景



広報委員会 編集風景

まちの声

多数のご意見ありがとうございました。

○議員さんは色々と町民の声を聞いたりして、町長に質問されており、良い事だと思えます。しっかりと大勢の町民の声を聞いて下さい。
(69才女性)

○議会だよりを読むことにより、町の動きがわかり、毎回勉強になります。ますます、町の発展のため、内容の深い議会を期待しております。
(54才 女性)

○議員定数必要なら減らさなくて良い。住民の認める議員が何人いるかと言うことで、人気投票で投票したから、即議員とは思えない。仕事が出来たら報酬アップ
(38才 男性)

○議会広報はわかりやすく、カラフルで毎回楽しみに読んでおります。次回の議会広報を楽しみにしております。
(女性)

第22回

議会フリス当選者

- 神石地区 佐久間スエ子さん
- 神石地区 横山 寿恵さん
- 油木地区 藤井 絹枝さん
- 三和地区 竹中 睦子さん
- 三和地区 小林 福春さん

アンケート調査のお願い

神石高原町議会 定数と報酬に関する研究会

神石高原町議会では、議会改革の一環として、昨年9月に議会議員定数報酬研究会を設置し、議会改革を推進しています。

この度皆様に、議会に関するアンケート調査を実施することにしました。

下記の5項目の質問に対して、アンケート用紙にご記入の上、平成26年11月30日までに、お送りいただきますようお願いいたします。

提出方法は、左記のどれかの方法で送ってください。

- 1、切手を貼って投函してください。
- 2、本庁の「議会事務局」へ持参して下さい。
- 3、各支所の「町民係」へ持参して下さい。
- 4、FAX送信でもよろしいです。

(FAX 0847-8514201)

ご意見があれば、意見欄にお願い致します。

アンケート記入用紙

- ① ア) CATV、広報誌の両方を見る
イ) どちらかを見る
ウ) どちらとも見ない
- ② 評価する 評価しない (理由を⑤に記入)
- ③ 高い 低い 適当
- ④ 多い 少ない 適当
- ⑤【ご自由にご意見をお書きください】

性別 男 女 年齢 歳

ご協力ありがとうございました

元気なグループ紹介だよ

田頭青春バンド



私たち「田頭青春バンド」は、音楽により地域に活力を与えることができな
いかと考え5年前に発足し
たおじさん・おばさん中心
のバンドグループです。

第2の青春を、音楽を
通して楽しもうと「田頭青
春バンド」と名付けまし
た。

バンド演奏が8人で、
ボーカルは4人です。楽器
は、サククス、トロンポー
ン、トランペット、リード
ギター、フルート、ドラム、
サイドギター、ベースギ
ター、マンドリン、キーボー
ド、シンセサイザーがあり、
2つの楽器を1人で演奏す
るものもあります。

発足時は楽器にさわっ
たことのないものも多くい
ましたが、今では練習の成
果があらわれ、発表の場が
地域内だけでなく、福祉施
設の慰問なども行い、多く
の皆さんに喜んでいただい
ています。

これからも、ひとつの
目標に向かって、メンバー
仲良く第2の青春を楽しみ
たいと思っています。

代表 梶尾 英志

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は12月です
日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビで放送します

7 2 0 1 5 2 2

神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局 宛

をりい
手貼さ
切手お下
(52円)

編集後記

神石高原町は、平成16
年11月5日の合併以来10
周年を迎え、記念式典が
11月9日にシルトピア体
育館にてとりおこなわれ
ます。
合併以来、旧町村の垣
根を取り除き、さまざま
な諸問題に対応出来たの

も、町行政の努力もさる
ことながら、町民の皆様
のご協力があつたからで
す。
神石高原町議会といた
しましても、今後さらに
町民の皆様のご意見など
を町行政に反映できるよ
う努力してまいりたいと
思いますので、さらなる
ご協力をよろしく願ひ
します。
(横)

今回の議会ワイズはお休みいたします。ご意見な
どがありましたら17ページのアンケート用紙にご
記入の上、切手を貼って投函してください。



- 議会広報常任委員会
- 委員長 橋本 輝久
 - 副委員長 横尾 正文
 - 委員 妹尾 幸太郎
 - 委員 横山 素子
 - 委員 赤木 俊二

発行責任者 議長 木野山 孝志

住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201